

第2部 学校教育計画、学校評価及び外部評価委員会の概要

1. 令和6年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」及び「学校評価」の事業報告

令和6年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」及び「学校評価」

昇陽中学校・高等学校

校長 竹下 健治

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」

(1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」

ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。※学習指標である GTZ 指標を基に、各コースの学力定着・学力向上を図る。

イ 「ミネルヴァ・プラン」を中心に「探究の学び」を取り入れ、「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。

ウ IT フロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、アニメ、eスポーツ）を柱として育成する。

エ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。特に、中学校は英検の検定合格を重点とする。

2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。

(1) 全コースで、時代に即した活力ある人材育成を図る。そのため、基礎学力を定着させ、応用的学力を向上させる。また、全コースの特色をさらに磨き、探究の学びや実践型学習や外部実習などに努める。さらに部活動や学校行事を活性化させ、生徒の可能性を最大限伸ばす。

(2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。

「教養」では、国語力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。

(3) 100周年記念事業等で、施設改修を行い、学習環境の改善を図る。

3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」

- (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
- (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）

4 魅力ある学校づくりに参画する教職員集団

- (1) 授業力向上の取り組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
- (2) 生徒が輝く魅力ある学校づくり
 - ア 生徒が輝く魅力ある 8 コースへ切磋琢磨する教員集団（探究活動、各コースの活性化のための研修や会議）
 - イ 不登校生徒など配慮を要する生徒への組織的対応として教育支援センターの設置
- (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営、協働の意識を持つ。機動力ある組織作りと小会議やミーティングの開催
 - イ 「昇陽スタンダード」や懲戒規定の改訂を通じて、コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
 - ウ ICT 環境を整え、ホームページを充実させる。SNS 等を使用して積極的に外部発信する。（記録、更新の促進）」
 - エ 新任教員等に定期的な研修を実施する。

- 5 本年度創立 100 周年を迎え、記念式典などを含めた学校行事を元気あるものとし、次の 100 年のための学校改革を全ての教職員で取り組む。

III 本年度の取り組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
	(1) 基礎学力の充実 ア 基礎学力の定着	・<u>学力指標 GTZ による学力定着および学力向上を図る</u> ・宿題・課題とその定着確認 ・自習室の設置	・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価 3%上げる。 ・<u>基礎学力テスト等の分析・検討</u> ・<u>各コースの GTZ を下げる</u>。<u>ない。</u>	・「授業関係」肯定的評価 2.0%上がる。○中学校 7.6%上がる◎ ・テスト後に分析・検討実施○ ・GTZ 特進コースが下降△、他は現状維持○

1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	イ「主体的・対話的で深い学び」の実践 ウ ICT教育の展開 エ ITフロンティアコースの4分野の展開 （2）生徒が輝く居場所 オ 各コースの目標設定・取組み	・放課後、長期休業中の講習の充実 ・朝のHRに朝読と朝テスト ・ICT教育やアクティブラーニングの研究授業実施 ・中学校1年、高等学校1年全員に、1人1台のクロームブックを使用させ、新たなICT教育の取組みを行う。 ・プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、アニメ、eスポーツの取組み ・各コースの特色ある学び	・講習の開講日数および参加者状況 ・朝テストの実施率 ・ICT教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況 ・<u>ICT教育事例</u> ・週1回放課後の活動状況 ・各コースの特色ある学び実践例	・講習は各教科継続実施○ ・朝HRは中学校SDG'sラジオ◎、高校は継続実施できず△ ・令和7年度DXハイスクール事業に応募 ・中学校は英検対策でICT教材「すらら」利用 ・高校はデジタル教科書など使用 ・イラストやeスポーツで活動 ・特進コース…ECCグローバル体験 ・進学コース…ミネルヴァプランで校外学習 ・看護医療コース…暁明館病院で実習など ・保育教育コース…桃山教育大学から週1で出前授業 ・パティシエコース…「なんばマルイ」で出店販売、豊能町のふるさと返礼品製作、販売、辻調スペシャル授業、和菓子スペシ
-------------------------------	---	---	--	---

		・キャリアビジョンの形成 ・英検、GTEC の充実 ・英検、数検、漢検の受検促進 ・特進、進学コースの進路実現 ・<u>探究の学びなどから総合型選抜受験</u> ・進路決定率を高める ・就職・公務員希望者の進路実現 ・模試による学力評価 ・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ ・福祉コースの進路実現 ・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。	・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価 3% 上げる。 ・<u>キャリアビジョン形成取組み</u> ・キャリアパスポートの作成 ・<u>英語の外部検定試験合格者数（英検、GTEC）</u> ・<u>難関私立大学合格者数</u> ・<u>総合型選抜入試の受験数</u> ・就職希望内定率を 100% ・公務員試験合格者 ・介護福祉士国家試験合格率 85%以上 ・中学校英検等、昨年度以上	・ヤル授業、紅茶スペシャル授業 ・福祉コース…施設での介護実習（全体として◎） ・「進路関係」評価 4.3% 上がる中学校 18.4% 上がる◎ ・大学見学、分野別説明会○ ・各学期末に記入○ ・高校準 2 級 6 名（昨年 13 名）△ ・薬学系大学 15 名、武庫川女子大学 6 名、神戸市外国語大学 1 名◎ ・進学 205 名中 92 名が総合型入試受験 ・学校斡旋就職率 100%◎ ・大阪府庁合格◎ ・介護福祉士国家試験発表は 3/24、27 名受験で 22 名合格（81.5%）○ ・中学校英検準 2 級 3 名（昨年なし）3 級 2 名（昨年 6 名）◎
--	--	---	---	--

		・放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。 ・各コースのカリキュラム変更準備	・昇陽塾の利用状況	・昇陽塾毎日利用あり。継続利用は2年生が多かった。 ・カリキュラムは学校方針に従って変更準備している。
2 輝く 居場所 を作る	(1) 新コースの立上げと人材育成など (2) 「For Others」などの人材育成 (3) 施設整備の充実	・進学コースとビジネス・IT フロントティアコースでの取組み ・全てのコースの学力育成と特色ある取組み ・各コースで「For Others～奉仕のこころ」の取組みを行う。 <u>100 周年記念事業施設および活動例</u>	・<u>学校教育自己診断の学校満足度の上昇</u> ・「For Others」各コース取組み例 ・海外修学旅行や海外研修の取組み模索	・学校満足度1.6%上がる。○中学校12%上がる◎ ・保育教育コース…「地域なかよしイベント」実施福祉コース…此花区役所支援事業コラボ◎ ・海外修学旅行 44 名参加 ・海外語学研修 8 名参加◎ ・100 周年記念式典…生徒主体の式典実施◎

3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成	ア 授業に集中できる学習環境と授業規律	・生徒による挨拶運動の実施 ・正門での「正門一礼」の実施 ・予鈴や入室指導の継続 ・「5分前集合」を徹底させる ・	・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価3%上げる ・「5分前集合」「授業集中状況」 ・<u>遅刻件数を昨年度比10%減少</u>	<u>サッカー部挨拶運動実施◎</u> ・移動教室の入室が遅い△ 「生徒指導」関係3.2%上がる○ - 中学校12.5%上がる◎ ・「5分前集合」…定刻集合はできるが○ ・「授業集中」は授業によってできていない△ - 昨年度より1.75%増える△ ・生徒・教職員向け人権研修実施
	イ 人権意識の醸成	・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修）		
	ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化	・強化クラブの充実	・強化クラブの全国レベル大会出場 ・<u>社会貢献と地域連携の取組み</u> ・<u>部活動参加率</u>	・中学校…女子ソフトテニス部全国中学生大会団体優勝◎ - 高校…女子ソフトテニス部インターハイ3位◎7 - 男子バレーボール部…インターハイ、春高出場◎ ・ボランティア部やダンス部が此花区の行事に参加◎ ・高校48%（昨年43%）◎ - 中学校86%（昨年81%）◎

4 魅力ある学校づくりに参画する教職員集団	(1) 授業力向上の取り組み	・授業公開週間の設定 ・授業アンケートの実施 ・各教科・科目のシラバスの充実 ・夏季休業中の外部研修受講 ・先進校訪問 ・各種委員会（将来構想委員会、ICT 検討委員会、入試問題検討委員会、教育相談委員会）による問題対応	・相互授業見学、研究協議の実施 ・<u>教職員「昇陽スタンダード」の周知</u> ・<u>観点別評価実施状況</u> ・<u>教職員研修会の開催件数</u> ・<u>先進校訪問</u>	・授業公開週間の実施 ・「昇陽スタンダード」は職員会議等で周知 ・観点別評価実施 ・夏休みなどで人權研修等 ・先進校訪問できず△ ・入試検討委員会や教育相談委員会では定期開催で問題対応○
	(2) 魅力ある学校づくり	・<u>進学 I コースのミネルヴァプランの立上げ</u>	・<u>ミネルヴァプランの実施状況</u>	・ミネルヴァプラン「大阪学」で実施 ・前述している。
	ア 魅力ある 8 コース	・<u>各コースの探究の学び等の活動</u> ・不登校生徒の組織的対応	・<u>各コース活動実践例</u> ・<u>教育支援センターの立上げ</u>	・教育支援センターを立上げ、不登校生徒などに登校促進・学習支援している◎
	(3) その他	・<u>生徒の欠席等の日常生活の把握</u> ・学校ウェブサイトの刷新	・中退者の減少 ・学校ホームページの更新状況	・本年度 HP をリニューアル、NEWS 更新 54 回、インスタ更新 98 回

2. 令和6年度 昇陽中学校・高等学校 外部評価委員会 事業報告

○根拠規定：学校法人淀之水学院 外部評価委員会規程(平成30年9月8日制定)

第1回外部評価委員会 令和6年10月5日(土) 13時 新南館 3F 第1会議室において

参加者：区長、地元校長、大学教授、教育関係者、保護者会会長、学校関係者(校長他)

1. 委嘱状交付
2. 委員紹介
3. 令和6年度 学校教育計画について(校長より説明)
 - ・ICT教育や探究実践型学習をさらに促進する。
 - ・時間の厳守・挨拶・身だしなみ・「ベル始業」などが弱くなってきている。生徒指導の取り組みが必要。
 - ・教育支援センターを立上げ、より個々の生徒の課題等に向きあいたい。
 - ・難関私立大学をはじめ進路の実績を着実に上げていく。

(評価委員のご意見)

- ・地域の連携をさらに深める必要があるのでは。
- ・教育支援センターなどで個々の生徒に対して細やかな対応をしてもらえることは有難い。
- ・これだけの進路実績が短期間に出せた事を、もっと広報活動した方が良い。

4. 現状報告と学校教育計画の進捗状況

第2回外部評価委員会 令和7年3月15日(土) 新南館 3F 第1会議室において

1. 学校教育計画と自己評価分析

(学校教育計画の自己評価に対する評価委員のご意見)

- ・コロナ禍後、生徒指導で課題が出てきたし、不登校生徒も多くなった。生徒が変化した。
- ・自己評価に関して、概して△もあるが、○や◎が多く、前向きである。進路実績も伸びているし、進学系が頑張っている。教育支援センターの立上げに注目している。
- ・全体的に悪い内容ではない。目標値が高ければ評価は低くなる。逆に、低い目標で低い評価は分析する執拗がある。

2. 学校教育自己診断アンケート結果について

今回、委員の皆さんに学校評価アンケートをやり始めた6年間の数値変化を見ていただく趣旨は、数値に一喜一憂しないで生徒たちの学校への評価の変化を俯瞰した状態で見えていただきたいと思ったからである。

① 高校生について

全体的に着実に数値が上がってきているが、さらなる数値(評価)上昇が必要である。

- 1「あなたにとって、昇陽高校での高校生活は全般的に満足できるものですか。」ここ数年来、数値が上がってきているが、今後学校満足度85%を目標として学校努力する。
- 3「昇陽高校は、その教育方針を日々の活動に生かしていると思いますか」が、従来から数値が低い。「For Others」の活動も含めて、学校教育計画の中の位置づけが必要だと思われる。
- 8「先生に質問や相談に丁寧に応じてくれるか」は86%と数値が高い。「面倒見の良さ」を強めていきたい。
- 12「文化祭は、満足できるものでしたか。」は数値が上がってきているが、グラウンドを発表会場にした、キッチンカーの導入、休憩場所の確保などが高評価につながったと思われる。
- 15「昇陽高校は、日頃から日常生活のマナーや社会のルールを守るように取り組んでいますか。」24「教室内

の環境は快適だと思いますか。」は、数年来あまり変わらない、もしくは評価が下がっている。生徒指導面の指導方法も含めて考察する必要がある。

22「学校の施設・設備は満足できるものだと思いますか。」数年来、低い評価である。学校の老朽化とともに、適切な施設更新を必要と思われる。

② 中学生について

全体的に高止まりの状態である。また、中学生の数値（評価）は、中学生の母数が少ないので、数人の回答で数値が変化する。その意味で昨年度全体的に数値が低かったが、昨年度と比較として、本年度は数値が上がった項目が多かった。

22「学校の施設・設備は満足できるものだと思いますか。」の評価が下がってきている。施設・設備の適切な更新が必要と思われる。

③ 保護者について

高校保護者に比べて中学保護者の学校満足度の数値が下がってきている。教育活動に対して理解されているか確認する必要がある。

4「昇陽高校は、社会に出るために基本的な考えや行いを身につけさせようとしていると思われますか。」の数値が下がってきている。教育方針や生徒指導面の指導について、再度確認する必要があると思われる。

8「昇陽高校は、お子様の資格（英検・漢検など）取得に熱心に取り組んでいると思われますか。」の数値が下がってきている。また、英検合格者数も下がってきているので、取組みも含めて見直す必要がある。

（学校教育自己診断に対する評価委員のご意見）

- ・もう一段上げるの KPI（Key point index）を採用してはどうか。
- ・5年間で上がってきている事は素晴らしい。中学校の保護者が辛いのは、期待値が大きいということか。満足度8割を目ざしてほしい。
- ・「集団の力」をどうつけていくのか、学びの集団をどう作っていくのか、子ども同士が学び合うことが大切。